



2024年1月12日

各位

会社名 株式会社 松屋  
代表者 代表取締役社長執行役員 古屋 毅彦  
(コード番号 8237 東京証券取引所プライム市場)  
問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課  
課長 関 泰程  
(TEL. 代表 03-3567-1211)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年10月12日に公表いたしました2024年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2024年2月期通期業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

##### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	1,700	1,700	1,700	32.04
今回発表予想(B)	41,000	2,300	2,300	2,100	39.58
増減額 (B-A)	1,000	600	600	400	—
増減率 (%)	2.5	35.3	35.3	23.5	—
(ご参考) 前期通期実績 (2023年2月期)	34,400	347	261	4,383	82.62

##### (2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,000	1,600	1,600	30.12
今回発表予想(B)	34,000	2,200	2,100	39.53
増減額 (B-A)	1,000	600	500	—
増減率 (%)	3.0	37.5	31.3	—
(ご参考) 前期通期実績 (2023年2月期)	27,822	228	3,488	65.66

## 2. 修正の理由

本日開示の2024年2月期第3四半期（累計）の実績につきましては、国内のお客様に対する売上高が堅調に推移したことに加えて、訪日外国人の増加に伴い免税売上高が想定以上に拡大したことにより、百貨店業の売上高は計画を上回って推移いたしました。

このため、第3半期（累計）の実績および足元の業績動向を踏まえ、2024年2月期の通期業績予想を見直した結果、連結の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益および個別の売上高、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上